

令和3年度こども園紹介

ホームページにおいても同様の内容を記載しておりますが、入園を希望される保護者の皆様用に抜粋して掲載しております。なお、入園をご希望される方を対象に、施設見学会を予定しておりますので電話連絡の上、ご参加下さい。

(以下の通り、見学日を設けております)

♪～施設見学会～♪

第1回 令和3年10月6日(水) 第2回 令和3年10月14日(木)
 第3回 令和3年10月20日(水) 【予定】第4回 令和3年10月27日(水)
 時間 10:15～11:00 【10時から受付】

※コロナ感染症拡大防止の為 1日5世帯までと制限しております。

※ご希望の方は事前にご連絡ください。【担当 大城・高嶺・徳里】

希望の保育園を決定する前に、事前見学会を設けております。園舎の紹介、こども園の方針や目標をわかりやすく説明します。保護者の皆さんが安心して通わせるために重要な見学会です。一度見学下さい。

おなが幼保連携型認定こども園

設置者：社会福祉法人 豊穰福祉会

設置年月：昭和59年3月

所在地：豊見城市翁長647-6

電話番号：850-1498

建物年月：平成23年5月 鉄筋コンクリート四階建て

敷地(延床)面積：1276.32㎡(1277, 28㎡)

職員：園長 主幹 副主幹(1人)

保育教諭・保育士・幼稚園教諭(30人)

子育て支援員(5人) 事務員(1人) 看護師(1人)

栄養士(1人) 調理員(8人) 用務員(1人)



2・3号	0歳※1	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	定員
	11人	20人	24人	25人	25人	25名	130人
※1 生後6ヶ月程度から入所可能(ご相談下さい)							
1号				5人	5人	5人	15人
開所時間	月～金	保育標準時間	7:00～18:00<延長～19:00>				
		保育短時間	<延長～8:00> 8:00～16:00<延長～19:00>				
土	同上						
実施事業サービス		<ul style="list-style-type: none"> 子育て相談・延長保育・幼年消防クラブ・園庭解放 一時預かり事業(幼稚園型) 					
専門講師による活動		英語あそび・体育あそび					



教育・保育目標

～心身ともに「生きる力」を持つ強い子を育てる～

◇元気な子ども

◇やさしい子ども

◇頑張る子ども

◇身の回りのことができる子ども



教育・保育目標

元気な子ども

- ・くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ。
- ・薄着の習慣を身につけ、寒さに負けず健康に過ごす。
- ・全身を使った運動を行い、幼児期に必要な動きの獲得と体力を養う。

身の回りのことができる子ども

- ・食事、睡眠、着脱、排泄、清潔などの基本的な生活習慣を身につける。
- ・進んで挨拶をすることができる。
- ・あそびや社会生活に必要な簡単なルールを守る。
- ・自ら危険を予測して、安全を守る。

心身ともに「生きる力」
を持つ強い子を育てる

～健康で公德心や社会性を
持つ強い子～

やさしい子ども

- ・相手を尊重し、思いやりの心で困っている人に手を差し伸べる事ができる。
- ・友達と関わる中で、良いこと、悪いことの判断を行動に移すことができる。
- ・相手の目を見て静かに話を聞くことができる。

頑張る子ども

- ・食事や運動など苦手な事にも進んで挑戦し、根気強く頑張ることができる。
- ・少しの困難に負けず、頑張ることができる。
- ・生活の中で、ことばに興味や関心を持ち、思ったことや感じたことを話したり書いたりして表現する力を身につける。

教育・保育方針

教育・保育の基本は、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に依拠して実践するものであるが、教育・保育に臨む基本的姿勢にあっては、常に計画・実践・評価反省・改善を行いながら継続的に行うものである。児童が安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより健全な心身の発達を促すものである。また、児童にとって常に良い保育をしていくために、保護者からの要望や意見があれば真摯に耳を傾け、不明なところがあれば平易に説明して、より良い保育のために理解を求め、職員一人ひとりが努力研鑽することを基本とする。

- 一 安全を基本にして保護者と共に健康な身体づくりをすすめる。
- 二 養護の行き届いた環境の下にくつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし生命の保持及び情緒の安定を図る。
- 三 児童や家庭に対して、わけへだてなく保育を行い、人権を尊重しプライバシーを保護する。
- 四 少しの困難に負けない心と身体づくりをすすめる。





～当園の教育・保育について～



当園の教育・保育は、保育の理念、保育の基本方針、保育目標を拠り所に行っております。毎月、保育士はクラス毎に保育計画（主たる活動）を立案し、それを基に保育実践を行います。実際の保育は、健やかなる育ちを願い、養護と教育を一体に、食事・排泄・睡眠・着脱・清潔などの正しい習慣や、積極的にあそびや生活をする、相手を尊重し、思いやりのある心を育てるよう進めていきます。

さらに、0歳児クラスや、1歳児クラス前半の子どもさんは、特に未熟で個人差もあります。病気に対する抵抗力も弱いため、保育士は一人ひとりの生活（ミルク・離乳食・昼寝・排泄・遊び）を十分考慮して保育を行ってまいります。



～5歳児保育の取り組みについて～



平成27年度より子ども子育て支援制度がスタートし、それに伴い当園においても5歳児保育がスタートしました。（30年度入所児童27名）

5歳児クラス（さくら組）は、小学校1年生に進級するに当たり、「身の回りのことを自分で上手にする」「先生目を見て話を聞く」「時間を見ながら行動する」「進んで挨拶をする」「相手を思いやる優しい心」が身につくように重点的に取り組んでいます。現在、0歳児からの継続・一貫した保育の確立により、5歳児クラス（さくら組）は以上のことが身につけてきています。1年生に進級しても「きちんと学習することが出来る」「学校生活をスムーズに行うことが出来る」ものと確信しています。

様々な行事を経験し友だちと協力したり助け合う事で主体性も生まれ、出来ない事にもチャレンジしようとする向上心も育っています。

また、各幼稚園においては50～80名程度の大きな集団があります。やはり保護者の皆様にとってお子さんが元気に学校に行き友達と楽しく学校生活を送れることを切に願っていると思っています。そこで当園においては、その部分を重要と捉え、現在「友達100人できるかな」と称して市内の保育園と月に1度、5歳児保育交流会を行っております。小学校に進級するにあたり、元気に楽しく学校に通えることを目的として大きな集団を作り、スムーズな進級が行えるように考えております。小学校への入学は、保護者の方々は、もちろんであります。保育園としても小学校へのスムーズな移行は、とても重要に捉えています。そのことから3歳児クラスから小学校に向けて『一貫した生活の流れ（基本的生活習慣）の確立』と『健やかで丈夫な身体づくり』を積極的に進めているところです。

